

テーマ：テープ等がくっ付かない使い捨て手袋

■ 背景

- ・ 看護師をはじめとした医療従事者は、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行以前から、日常業務には使い捨て手袋を使用して患者さんのケアや処置にあたっている。
- ・ 一方、患者さんの処置において、テープを使用して色々なものを患者さんの身体の一部に固定することも多い。
- ・ この時、どうしても使い捨ての手袋とテープがくっ付いてしまい、作業効率が落ちる状況がある。
- ・ 手袋もテープも医療現場にとって必要不可欠な汎用製品であるが、作業する場面では相性が悪い。



■ 現在の状況、対応方法

- ・ 出来るだけテープの端をもったりして、くっ付く面積を最小限にして、処置を行う。
- ・ くっ付いてしまった時は、丁寧に時間をかけてはがすこともある。
- ・ どうしても作業時間に限りがある時は、手袋を外してテープ剤を使用することも多い。

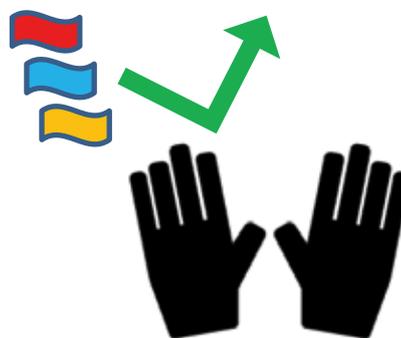
■ 現在の課題

- ・ くっ付きにくい手袋も上市されているが、コストパフォーマンスが悪く、通常の使い捨て製品の10倍以上の価格のわりには、性能的に満足できないレベルである。
- ・ 看護師にとっては仕方なく素手で処置をすることも多く、感染や汚染のリスクが高いという問題がある。

■ 使用頻度や市場性(マーケットサイズ)

- ・ 世界の使い捨て手袋の市場規模は、2021年に56億3,600万米ドルとなり、2021年～2028年に12.1%のCAGRで成長し、2028年までに125億3,866万米ドルとなると予想されています。
 - ・ 市場を牽引する主な要因には医療関連感染の負担の増大と外科手術の増加などがあります。
- (出典：株式会社グローバルインフォメーション)

■ 解決策案の例(概念のみ)



機能アイデア例

- ・ くっ付きにくい素材や表面構造の工夫
- ・ 手袋の概念(外界との遮断等)は踏襲しつつ、形状に拘らず遮断して感染や汚染を防ぐ機能

■ 看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>